



しぱれっと

2
2022 February
vol.258



特集 「地域くらし活性化計画」 重点取組事項(1)～(4)の達成状況について

農を担う
野菜農家 高田 和之 さん
牛窓地区……………10ページ

今月の折り込み

令和4年産いもづる予約注文書
令和4年産大豆類種子予約注文書
春夏期の農作業用品注文書

ほか

特集「地域くらし活性化計画」

重点取組事項(1)～(4)の達成状況について

当組合は、平成26年より「JA岡山くらしの活動推進方針」を制定し、地域に根ざした活動に取り組んでいます。令和元年度からの3力年はさらに具体的な方針を定め「地域くらし活性化計画」を策定し、豊かで暮らしやすい地域社会の実現にむけ、総合事業の機能・役割をさらに発揮し、地域の活性化に取り組んでいます。今月号では、計画に基づいて策定した重点取組事項とその取り組み内容についてご紹介します。



JA岡山くらしの活動推進方針

「JA岡山くらしの活動」とは組合員・地域住民の皆さまとともに「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、食農教育活動や高齢者福祉事業などのJAの総合事業を通して地域の農業やJAにより興味を持っていただき、地域をサポートし、またJA自らも取り組んでいく活動です。

3つの方針を制定し地域に根ざした活動に取り組んでいます。

- (1)「地産地消」の取り組みを通じて、「食と農業」のつながりについて理解促進を図るとともに、次代を担う子どもたちを対象とした農業体験学習を進め、次世代への農業理解の醸成と食農教育の実践に取り組めます。
- (2) 地域コミュニティの活性化に貢献するため、支所等を拠点とした「場」の設定と提供を行い、JAが組合員・地域住民とともに地域を元気にする活動に取り組めます。
- (3) JAの事業活動や女性部活動への参加促進を図るための集いの場を提供するとともに、女性のJA運営参画を進め、女性ならではの視点による地域に根ざしたJAの事業活動に取り組めます。



地域くらし活性化計画

「JA岡山くらしの活動推進方針」に基づき、新たに令和元年度からの3力年の具体的な取り組みを定めたもので、総合事業の機能・役割をさらに発揮し、地域の活性化に取り組むことを目標としています。当組合では、組合員・地域住民の健康増進活動や幅広い協同活動推進の中核となる生活文化活動を円滑に行うことを目的に、各支所・営農センターに生活文化活動担当者を置き、積極的な活動に取り組んでいます。

重点取組事項を通して、組合と組合員・地域住民が相互扶助の理念の共有化を図り、これまで以上に組合事業への理解と参加を促進します。

重点取組事項

- (1) 食農教育活動を通じた地域コミュニティの活性化
- (2) 総合事業を通じた生活インフラ（生活基盤）機能の発揮
- (3) 支所等を拠点とした「JAくらしの活動」の実践
- (4) 正・准組合員とのメンバーシップの強化



重点取組事項(1)

食農教育活動を通じた地域コミュニティの活性化

●取組内容

女性部・生産者組織・青壮年部や行政・企業と連携し食農教育の場を作り、地元農産物への理解促進や消費拡大に取り組んでいます。

●活動内容

・食農教育活動

JA岡山女性部と連携し、「食と農」の大切さを伝え、農業・JAへの理解を深める活動を行っています。また、JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌「ちやぐりん」の記事を活用した学習活動も行っています。



●令和2年度活動実績

食農教育活動参加者…210人
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、岡山県のガイドラインに従い開催を中止した活動もありました。



重点取組事項(2)

総合事業を通じた生活インフラ(生活基盤)機能の発揮

●取組内容①

組合員・地域住民にさまざまなサービスを提供し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

●活動内容

・相談活動

税理士による税務相談会や所得税、消費税の確定申告支援を実施するなど、JA岡山青色申告会を基軸とした税務相談に取り組んでいます。

・健康増進活動

組合員および地域住民を対象に、生活習慣病の早期発見と疾病予防を目的とした健康活動(組合員健康診断)や健康づくり教室、体操教室などの健康教育活動を行っています。



・組合員・利用者サービスの強化
JAの特色を生かした相談機能の充実に努め、組合員・地域住民の皆さまの視点に立った活動を行っています。

●令和2年度実績

税務相談会…19回
確定申告件数…2,886件
組合員健康診断…936人(33会場)

年金相談会…25回

ローン相談会…170回

●取組内容②

組合員・地域住民が健康で安心して暮らせるよう健康寿命を創造する「JA健康寿命100歳プロジェクト」を実践するとともに、行政・他団体との連携により高齢者支援に取り組んでいます。

●活動内容

「JA岡山助け合いの会かがやき」会員の協力のもと、組合員・地域住民を対象としたミニデイサービスやサロン、地域の茶の間「みんなのお家」を開催しています。

●令和2年度実績

ミニデイサービス…3回、利用者37人、協力会員8人
サロン…51回、利用者693人、協力会員158人
地域の茶の間「みんなのお家」…21回、利用者361人、協力会員96人



新型コロナウイルス感染症の影響により、活動中止期間を設けました。再開後は、岡山県のガイドラインに従い活動を実施しました。

重点取組事項(3)

支所等を拠点とした「JAくらしの活動」の実践

●取組内容

支所・営農センター等を拠点として、全支所で各々の地域特性をふまえたコース、ライフスタイルに応じたJAくらしの活動を実践し、組合員や組合員家族、地域住民との接点づくりに取り組んでいます。

●活動内容

地域の小中学生を対象に、田植えや稲刈りなどの農業体験や、出前授業などを行っています。また、地域のまつりへの参加、グラウンド・ゴルフ大会の実施、支所・営農センターだより等で地域の話題をお届けしています。

●令和2年度実績

支所 営農センターだより…96件
地域のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、岡山県のガイドラインに従

い開催を中止した活動もありました。

重点取組事項(4)

正・准組合員とのメンバーシップの強化

●取組内容①

地域住民の協同組合への理解を深める活動を展開し、女性部組織などの活性化に取り組んでいます。

●活動内容

・女性部活動のPR

広報誌や支所・営農センターだより等で活動を紹介し、女性部やフレッシュミズの加入促進を行っています。

・レシピ集の作成

米の魅力を伝え、消費量を回復するため、JA岡山女性部と協力し、「おこめレシピ」を製作しました。内容については広報誌やJA岡山公式ホームページへ掲載し、PRしました。各支部で受け継がれてきた郷土料理を中心に掲載し、地元農産物のPRや食文

化の継承を図るとともに、仲間づくりの一助にもなっています。

●令和2年度実績

女性部20支部…2,705人、フレッシュミズ6支部…53人

●取組内容②

地域住民との接点が多い農産物直売所等を拠点に、地元農業やJAの活動を発信し、地元農業応援団づくりに取り組んでいます。

●活動内容

「コミュニケーションあぐろぐOKAYAMA」の発行や女性部・生産者組織・青壮年部と連携し、農産物直売所でのイベントの開催を行っています。

●令和2年度実績

コミュニケーション誌を年2回発行し、各171,250部を新聞に折り込み、農産物直売所に4,350部配布しました。



地域農業の持続を目指し、 地域を盛り上げる仲間を増やしたい

高田 和之さん

牛窓地区：野菜農家

「たかた かずゆき」

平成5年生まれ。岡山県牛窓キャベツ部会、岡山県牛窓白菜部会、岡山県牛窓夏野菜部会、岡山県せとうちレモン部会所属。株式会社高田農園代表取締役。キャベツ、白菜、冬瓜、そうめん南瓜、レッドキャベツ、レモン、トウモロコシ、ニンニクを栽培。妻、子の3人家族。趣味は仕事。座右の銘は「考えはかたちになる」。



農業について思いを話す高田さん

12月21日、牛窓地区の高田和之さんにお話を伺いました。

祖父の残した畑を 守りたい

―就農したきっかけは

私は幼いころから牛窓にいる祖父の畑に行っては、ちょっとしたお手伝いをして農業に親しんだ生活をしていました。祖父が亡くなった後、ふと思いついて父と一緒に牛窓を訪れたとき、かつて祖

父が綺麗に管理していた白菜畑の面影はなく、草が生い茂る荒れた姿に衝撃を受けました。祖父の残した地を守ろうと思い、農業大学校で知識と技術を磨きました。卒業後は、1年半程アメリカで経営を学び実務研修を受けました。帰国してからは農業法人に就職し現場を経験した後、牛窓にある祖父の畑を受け継ぎ就農し、4年目になります。

―農業を始めてからは

最初は祖父が栽培していたキャベツと白菜の栽培から始めました。牛窓特産でブランド化もされているため、取り組みやすかったです。その後、規模拡大を目指し、地域の人たちから畑や田んぼを請け負っています。

また、アメリカ研修で学んだ作業の効率化については、常に意識しています。現在は8品目を栽培し、年間で畑を上手くまわせるようにしています。今後はより高品質になるよう土づくりに力を入れていきます。

地域の農業を 持続していきたい

―今後の抱負は

地域農業の持続を目指し耕作放棄地を開墾したり、収穫作業の代行を行っています。牛窓地域は重量野菜が多く、収穫が大変なため、その作業をサポートすることで、ベテランの方が培ってきたブランド野菜の価値を守っていけると考えています。

また、一緒に農業をする仲間や、農地を募集しています。「一日農業バイト」にも登録しており、農業の楽しさを少しでも知ってもらえればと思います。従業員のひとは、地元牛窓で新規就農することが夢で、私のもとで農業を学んでいます。私が地域の畑を引き継ぐのはもちろん、私の会社で研修した人が独立し、地域農業を引き継いでいくことで牛窓地区の農業を持続していきたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



白菜の収穫の様子



従業員の方たちと協力して作業をします

野菜

ソラマメの生育が進んでいます



営農部指導課
宮本 大輔

●ソラマメ 春の栽培管理

秋に播種をしたソラマメが厳しい冬を乗り越えて5月ごろの収穫にむけて、徐々に生育が進んでいきます。

●茎の整理

1株から10〜13本の側枝が伸びてきます。草丈が50〜60cm程度に伸びてきたら、徒長した弱い茎を切り、生育の強い茎を残しましょう。太い枝を残して7〜8本に仕立てます。株が大きく広がるのを防ぐため、株から少し離して四隅に支柱を立て、ひもで周囲を囲んで押さえます（資料1）。

●追肥・土寄せ

追肥は茎の整理が終わったところと、サヤの肥大期に行います。10平方メートルあたり野菜いちばん等200gを2回行います。1回目の追肥時に畝の肩に施用します。またこのときに除草を兼ねて

中耕土寄せを行います。茎が外側にむかって開き、株元まで日光が当たるように、株の中心まで土を入れておきます。茎が伸びすぎて倒れそうになったら、先端の茎葉20cmほどを切り取ります（資料2）。

●サヤについて

サヤは下のほうから数えて数節が実どまりするだけで、それより上のものは、下のほうのサヤに栄養をうばわれたり、気温が高くなりすぎたりするために、あまりサヤが付きません。

●灌水

ソラマメは乾燥に弱く、水分を多く必要とします。特に開花や結実する時期の、極端な乾燥は落花の原因となるので、土壌の極端な乾燥を避け灌水を行います。水分の量で着莢のよしあしや、サヤの大きさなどが決まります。

●収穫

若どりでは避けましょう。上をむいていたサヤが下むきに垂れ、背筋部分が黒褐色になったら収穫どきです。サヤを触って大きな豆が確認できたら、ハサミで摘みとります。試し割りをしてみて、オハグロの部分が黒くなる前ごろが収穫適期です（資料3）。

●害虫

アブラムシに注意が必要です。発生初期にしっかりと防除しましょう（資料4）。

花き

お正月の寄せ植えその後



営農部指導課
中川 雄一

●松竹梅寄せ植えの管理

お正月の玄関などを華やかに彩った梅が散り、福寿草も咲き終わってしまう。最近はお正月の寄せ植えもさまざまにアレンジされ、ミニシクラメンやプリムラ、ミニスイセンなどが入っているものもあるようですが、松竹梅を中心にした寄せ植えの鑑賞後について紹介します。

●植え替え

松竹梅他の寄せ植えは、元々違う環境を好む縁起のよい植物を集めたものです。中には小さく切り詰めて無理矢理植え込んだものもあります。鑑賞後はそれぞれに合った条件に戻してやるべきです。そのままではやがて枯れることもあります。簡単なのは、それぞれ好む環境に地植えすることですが、後々大きく育った姿を想定しておかないと困ることになります。

見た目のかわいい竜の髭やちご笹も庭で広がりだすと、2〜3年後には手に負えなくなるので要注意。時期は3月暖かくなる直前が低温や寒風で傷みにくくてよいのですが、寄せ植えは無理をしているので、梅や福寿草の花が終わったら行い

しょう。植え替え後は寒さ、乾燥の影響を受けにくい場所に置きましょう。

●梅と松

それぞれに駄温鉢で管理すれば来年の寄せ植えに使えます。気を付けるのは、枝張り程度までの大きさのものに植えることです。大きい鉢に植えると根を広げてしまつて寄せ植えにしにくくなります。鉢底にはごろ石を入れ、用土は赤玉土や山土に桐生砂、腐葉土などを混ぜたものを使います。梅はある程度、肥保ちや水保ちがよい土、松は排水性や通気性のよい土を意識します（資料5）。

梅は下の方から土をほぐし、下3分の1程度古い根をとって植えまします。松は根を切りません。できれば針金などで倒れないように固定するとよいでしょう。用土を隙間なく入れて、たっぷり灌水します。

梅はそのままだとたくさん芽が伸びますから、各枝の付け根の1〜2芽残して切り戻します（資料6）。南天は1年後には大きくなるので庭や畑の一角に植えるか、不要なら

資料5 梅と松の植え替え

鉢底にごろ土を入れ、針金を通して置いて植えた株を固定する。土を割りばしなどで隙間無く押し込む。



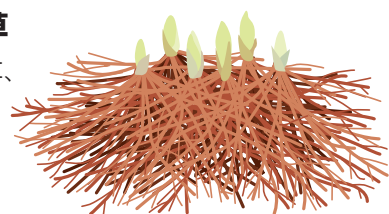
資料6 梅の切り戻し

梅は1〜2芽残して切り戻す



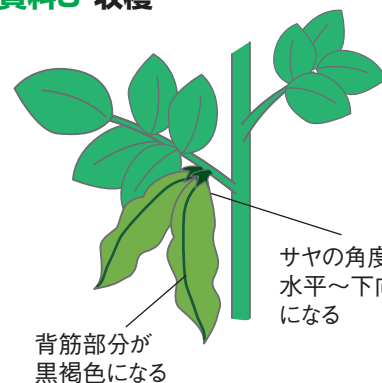
資料7 福寿草

掘り上げた福寿草、小さな芽に対して大きな根張り

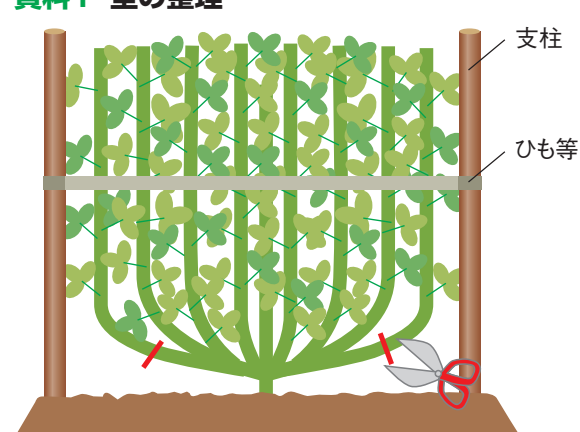


●連作障害について
ソラマメやエンドウの豆類は、連作を極端に嫌うため3〜5年以上あけて栽培するようにします。連作をすると、いや地現象のため立枯病などが発生したり、生育が前年より悪くなり収量が減少します。

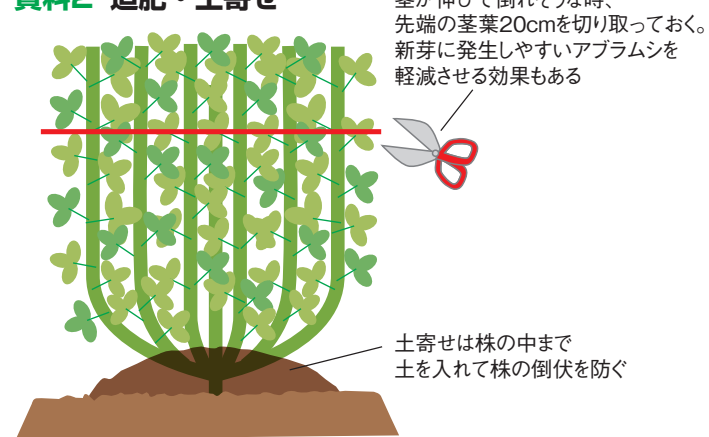
資料3 収穫



資料1 茎の整理



資料2 追肥・土寄せ



●花言葉
「幸せを招く」「永久の幸福」などです。

●ナメクジ
葉が繁っている期間が短いのでこの間元気な葉を維持するのが大切です。水分を保持しようとするナメクジに食害されることがあるので気を付けましょう。

作って植え付けます。鉢植えの場合は、しっかりと根を回復させるため、やや深め、大きめの鉢に根を広げて植えます。夏の間は水切れしないように注意しましょう。肥料は葉が伸びてから梅雨ごろに枯れるまでの間に効かせます。千倍程度の薄めの液肥を1週間ごとにやるか、緩効性の有機化成肥料などを少量ずつ施します。葉が枯れたあとも乾燥してしまつてはいけません。乾く前の水やりに注意しましょう。

ブドウの
整枝とせん定
について



営農部指導課
武田 祐一

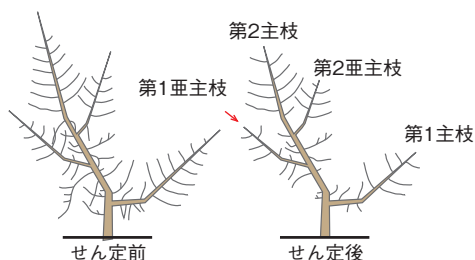
先月号に引き続き、桃の2年目の植え付け管理についてと、ブドウを植え付けてから3年目までの整枝とせん定について紹介します。

●桃の2本仕立ての場合

・植え付け2年目

主枝・亜主枝の伸長、充実を妨げるような長大な側枝や発育枝は8月下旬から9月に基部から10^{cm}程度残してせん除しておき、冬に基からせん定します。第1主枝の延長枝は30^{cm}程度に傾けて、支柱に誘引し、切り返します。植え付け1年目に形成した亜主枝は分岐部から50^{cm}程度の距離を離して45^度程度に傾けて誘引し、切り返します。

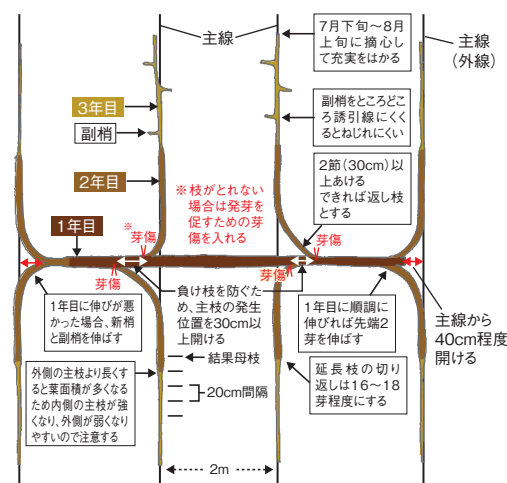
資料8 植え付け2年目のせん定の概念図（2本主枝整枝）



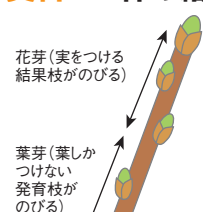
資料9 整枝の仕方（1年目の生育期の姿）



資料10 整枝の仕方（3年目生育期の姿）

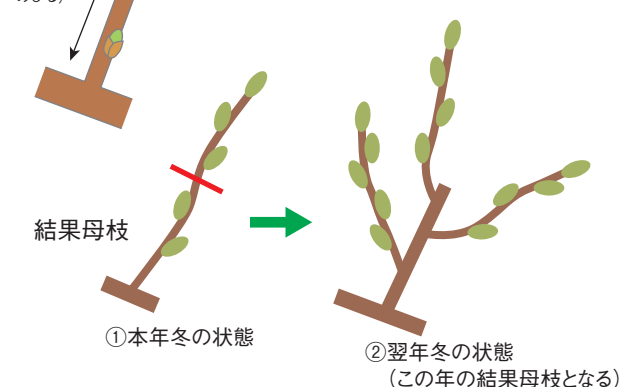


資料11 柿の結果母枝



資料12 柿の結果母枝の切り返し

翌年冬に多くの結果母枝を確保する



側枝は主枝・亜主枝の成長を妨げる長大なものを間引く程度にします（資料8）。
・植え付け3年目以降
植え付け2年目に準じて樹冠を拡大します。亜主枝の形成ができていなければ2年目に準じて形成します。第2主枝が旺盛に伸長した場合は第3亜主枝として第1亜主枝から2^{cm}以上離れた位置の副梢を使い、他は1年目の亜主枝と同様に取り扱いします。
植え付け4・5年目までに目標の完成樹形を形成します。

●ブドウの短梢せん定平行整枝法

苗木を植え付けて1年目はまず、勢いのよい新梢を選び、支柱に誘引しながら上へ伸ばしていきます。棚下約40^{cm}の所で一旦、摘心します。摘心することで、同等の勢いの副梢を左右に伸ばすことができます。摘心箇所より下の2本の副梢を左右に伸ばし、棚下へ誘引します。外線に向かって誘引した枝は、7月下旬～8月上旬に摘心して枝を充実させます。

●整枝の形

副梢を多く残すと過繁茂となり、延長枝が太く扁平になって、翌年の発芽が劣って枝が不揃いになるので、延長枝の本葉以外の副梢全て2・3枚残して摘心します。2月の冬季せん定では7月中旬までに伸長した部分まで切り戻します（資料9）。

ここでは一般的なWH型整枝（資料10）について説明します。前述の1年目のせん定に続いて2年目は、主枝の側面から発生する新梢を、主線に誘引し、主枝延長枝にします。主枝延長枝は、冬季に通常は15節を残して切り戻しますが、太い場合は、17・20節で切り戻しても構いません。延長枝が太すぎる場合は翌年のためにせん定直後に芽傷を入れて結果枝が飛ばないようにします。逆に細い場合は、太い節まで切り戻して出し直しする方がよいです。主枝延長枝を長く残し過ぎると枝ごとの勢力差が強くなったり、先端は枝がふいても基に近い方が枝が飛んだりして、翌年の結果母枝の確保が難しくなるので注意しましょう。

●柿・リンゴのせん定について

桃のせん定ができれば、どの果樹にも応用ができます。

富有柿やリンゴのせん定は、開心自然形に仕立て、西条柿は立ち木性が強いので、変則主幹形に仕立てます（立ち木にすると背丈が高くなるので、芯を途中で抜いて樹高を下げる樹形）。柿やリンゴのせん定で一番注意して欲しいのは、結果母枝の先端に果実（花芽）が着生するため、柿やリンゴは間引きせん定を中心に行います（資料11・12）。だんだん枝が長くなるので、元に向いてくる枝に切り戻して、枝の更新も行いましょう。

どどめせ

JA岡山女性部監修
OKOME
おこめレシピ
RECIPE

作り方

【準備】

＜飾る具＞を作っておく。

★錦糸卵…卵は溶きほぐし、砂糖、塩を入れて薄焼きし、錦糸卵にする。
さやえんどう、花型人参は塩茹でする。

- ①米は洗ってザルに上げ、水気をきっておく。
- ②干しえびは水で戻す。
- ③干し椎茸は水で戻して薄切り、ごぼうはささがきにして水に浸けてアクを抜く。かんぴょうは水で戻してから1cm幅に切って茹でる。人参は細切り、ちくわは縦半分に切って小口切りにする。
- ④②の干しえびと③の具材を油で炒め、〈A〉を入れてひと煮たちする。
- ⑤④を煮汁と具に分ける。
- ⑥炊飯器に①の米と、煮汁、酒を入れて普通の水加減に合わせ、昆布、具をのせて炊く。
- ⑦炊き上がった後10分ほど蒸らして昆布を取る。一旦具を取りだし、ご飯の部分に合わせた〈B〉の調味料を回しかける。
- ⑧具をご飯の上に戻し入れ、ざっくりと混ぜ合わせて器に盛り、錦糸卵を全体に散らし、＜飾る具＞を彩りよく飾る。

材料 (5合/10人分)

米	5合	
昆布	5cm角	
干しえび	25g	
干し椎茸	20g	
ごぼう	1/2 本	
かんぴょう	20g	
人参	1本	
ちくわ	大1本	
酒	50cc	
サラダ油	少々	
A	砂糖	大さじ 2
	塩	小さじ 3/4
	しょうゆ	大さじ 2 と 1/2
	干し椎茸の戻し汁	170cc
	干しえびの戻し汁	30cc
	みりん	少々
B	砂糖	大さじ2
	塩	大さじ 1/2
	らっきょう酢	100cc

＜飾る具＞

錦糸卵、干し椎茸、ちくわ、さやえんどう、花型人参……各適量

★錦糸卵 (卵5個分)

砂糖	小さじ 2 強
塩	小さじ 1/4
油	適量



奈良時代から 続く観音院

今回のあぐろグラムでは、岡山市東区西大寺中の西大寺観音院についてご紹介します。

約1200年前、観音菩薩の厚い信仰者だった藤原皆足姫が、東区西大寺金岡に草庵を開基し、千手観音像を安置したのが起源とされます。

毎年2月第3土曜日に行われている会陽は、室町時代に参拝者にお札を投与したところ、福を授かろうと希望者が殺到したことが始まりとされます。

平成21年に会陽500周年また、平成28年に国指定重要無形民俗文化財に認定されました。



編集担当 住吉 沙弥香